

市立秋田総合病院創立85周年記念病院祭を開催しました

皆様こんにちは。

当院は、昭和2年に秋田市が開設した診療所からスタートし、今年で86年になります。昨年10月27日に創立85周年記念病院祭を開催した際には、たくさんの市民の皆様のご参加をいただき誠にありがとうございました。大変好評でしたので、今年も病院祭を開催したいと考えております。

当院は急性期医療を中心に行う地域の中核病院であるとともに、秋田市の政策医療も担い、市民の健康維持に貢献することを最大の目的としています。診療においては、病気だけを診ることなく社会生活をしている人として捉える全人的医療を目指し、院内での健康教室や出前講座などを通じて病気予防などの啓蒙活動にも力を入れています。

今後も皆様の市民病院として頑張りますので、よろしくお願いいたします。

病院長 小松 眞史



ヴァイオリニスト
松尾沙樹さん



秋田青少年オーケストラ、秋田東中学校・OG 合唱団のみなさん

“肝胆膵外科高度技能専門医修練施設”に認定されました!



外科診療部長
佐藤 勤

肝臓や胆のう・胆管および膵臓は血管が入り組んだ複雑な構造をしており、これらの部位のがん手術は腹部臓器で最も困難なものです。2012年6月、当院はそれまでの肝胆膵系の手術実績が評価され、“肝胆膵外科高度技能専門医修練施設”に認定されました。

これは高難度の肝胆膵手術をより安全・確実に行うことができる外科医を育てることを趣旨として始まった施設認定であり、秋田県では秋田大学医学部附属病院に次いで2番目、北東北3県でも5番目の認定です。

なぜこのような認定制度が必要なのでしょうか。

胃や腸の手術は地域の中核病院に勤務していれば数年で多数の経験を積むことができます。しかし、肝胆膵の手術は胃腸手術の10分の1ほどの数しか経験できない病院がほとんどです。手術が複雑なうえに術後管理にもコツが必要で、経験を積むにはセンター化が必要な領域なのです。認定を受けたということは当院が肝胆膵外科センターの仲間入りをしたということに他なりません。

現在、当院では週に2件のペースで肝胆膵領域の手術が行われており、安全・確実、かつ患者さんの生活の質を落とさないような手術を心掛けています。実績もどんどん増え、手術成績も安定していますので、どうぞ安心して当院で治療を受けていただきたいと思います。

皮膚・排泄ケア認定看護師の役割



皮膚・排泄ケア認定看護師
菊地 香織

皮膚・排泄ケアとは、創傷(wound ウンド)・ストーマ(ostomy オストミー)・失禁(continence コンチネンス)：に関わる看護のことをいいます。この認定看護師分野の基盤は1960年にアメリカで教育が開始されたことに始まり

ます。そして日本でも海外で資格を取得したストーマケアナースの専門性が評価され、そのおかげで日本の認定看護師分野に「皮膚・排泄ケア」が誕生しました。

次に、皮膚・排泄ケア認定看護師の具体的なケア内容をお話しさせていただきます。

1つ目は、創傷ケアです。これは患者さんの弱くなっている皮膚を正常な状態に保つように保湿や保護のケアやテープ固定の工夫をすること、床ずれができないように、また、床ずれなどのきずの治りを手助けするような皮膚の環境を整えるケアのことです。院内の褥瘡対策チームと協力しケアを行なっています。

2つ目は、オストミーケアです。これはストーマ…つまり人工肛門や人工膀胱(ストーマといいます)を持っている患者さんへの心身のサポートやストーマの管理などを行うことです。ストーマを持っている患者さんは、自宅での自己管理がとても重要になってきます。そこでストーマ外来に来院し

ていただくことによって、入院前から退院後まで継続かつ一貫性のあるケアが行えるように心がけてケアを行っています。

3つ目は、失禁ケアです。これは尿や便の失禁に関して、適切なオムツや用具の選定を行い患者さんに紹介していくことなどで、問題の改善を手助けしていくことです。

これらの皮膚・排泄ケアは非常にデリケートな問題であり、あまり人に知られたくないと思う患者さんが多いのが特徴です。こうした患者さんの気持ちも十分に理解し、適切な対応とケアを行うことが皮膚・排泄ケア認定看護師に求められていることと考え、日々必要な患者さんのところへ出向き、病棟・外来の看護師や医師などと相談させてもらい適切なケアを提供できるように活動しています。

皮膚・排泄ケアに関して何か困ったことやご質問・ご相談があれば、ご遠慮なくお申し出ください。



【当院の認定看護師】

	認定区分	氏名		認定区分	氏名
1	感染管理	佐藤由紀子	4	がん化学療法看護	木元 優子
2	緩和ケア	石川 千夏	5	救急看護	山本 尚樹
3	皮膚・排泄ケア	菊地 香織	6	集中ケア	佐川 亮一

最新の診断機器・ 治療で乳がん撲滅を



乳腺・内分泌外科 科長 片寄 喜久

乳がん、女性で一番多いがんです。今後も益々増えることが予想されますが、乳がんは早期発見、早期治療で多くの方が治癒するしこりです。怖がることはありません。

現在は最新の超音波機器・マンモグラフィ・CT・MRIなどを用いることで、更に早期診断が可能となってきました。当院に導入された東北初となる最新型マンモグラフィは、通常の撮影に加えて、CTのように乳房の断層撮影が可能となりました。断層撮影により、今まで見えなかった小さな腫瘍や小さな石灰化を見つけることが可能となりました。この装置を全国でも数施設しか行っていない乳がん検診に、今年1月から応用しております。今後、検査結果の検証が必要ですが、断層撮影でより小さなしこりが見つかり、患者さんの恩恵になることを期待しております。

また、超音波装置では、しこりの硬さを判別し、より小さなしこりでも乳がんとの鑑別が容易となってきております。さらに、25年度には最新型のMRIを導入予定であり、一度に両側の乳房を詳しく調べることが可能となりました。また、乳がんの手術を行う際は、なるべく切除範囲を小さくすることで美容や患者さんの負担軽減にもつながりますが、MRIで腫瘍の広がりや詳細に分かるようになり、より少ない切除範囲での手術が可能となります。

乳がん治療は日進月歩の分野ですが、学会や研究会などに積極的に参加し、知識を習得し、ガイドラインに沿ったエビデンスに基づく医療、さらには患者さんの意向にかなう優しい医療を行っております。もし乳腺に異常を感じたり、乳がん検診で要精査になられた場合は、あわてずに当院を受診してください。早期発見・早期治療で乳がんを克服しましょう！



マンモグラフィ（平成24年7月導入）

乳腺超音波検査について

乳腺超音波検査は、ベッドに仰向けに寝て検査する側の腕を頭側へ上げ、乳房にゼリーを塗り、プローブ（検査するためのセンサー）を当て、乳房全体を観察します。プローブから出たビームは、組織に反射してモニター上に画像として映し出されます。

超音波検査の長所は、痛みがなく、エックス線装置を用いるマンモグラフィと違い身体への影響を及ぼさないところです。そのため、妊娠中でも検査が可能です。また乳腺の豊富な比較的若い女性は、マンモグラフィで乳腺全体が白く映りしこりが分かりにくいことがあるため、超音波検査を行って確認することもあります。短所は、診断の要素の一つである細かい石灰化（良性、悪性様々あります）が分かりにくいところです。

実際の検査では乳房内にしこりがないか、あった場合は良性か悪性か鑑別するためにしこりの性状を観察します。しこりは一般的に乳腺組織より黒く映り、悪性の場合は形が不整で内部が不均一などの性状を呈します。数ミリ大の小さなしこりの発見も可能なため、乳癌の早期発見にも役立ちます。

ようこそ、原監督!

1月10日(木)にプロ野球読売巨人軍の原辰徳監督が、当院を慰問されました。

正面ホールで大勢の人に囲まれての歓迎セレモニー、記念撮影の後、監督の強い希望で小児病棟を回り、子どもたちに励ましの言葉をかけてくださいました。

最後に穂積市長、小松院長らとも歓談し、当院を後にされました。



地方独立行政法人 Q&A

当院は、病院運営の機動性、柔軟性、透明性を高め、さらなる患者サービスの向上と効率的な病院経営を実現できる経営形態として地方独立行政法人を選定し、平成26年4月を目指して地方独立行政法人へ移行する準備を進めています。

Q 地方独立行政法人ってなに?

A 地方独立行政法人とは、住民の生活や地域社会の安定等のために確実に実施されることが必要な事業で、民間では必ずしも実施されないおそれがあるものを効率的かつ効果的に行わせることを目的に、地方独立行政法人法に基づいて、地方公共団体（当院の場合は秋田市）が設立する法人のことです。

Q なぜ、地方独立行政法人になるの?

A 現在、当院が抱えている最大の問題は、医師や看護師等の職員が不足していることです。しかし、市では、職員数の上限が決められており、すでにその定員を満たしていることから、必要に応じて職員を採用することができなくなっています。また、法律で予算単年度主義などの制約があり、医療材料の購入等において経費削減の工夫ができにくくなっています。地方独立行政法人になった場合は、これらの問題を解決でき、効率的で柔軟な病院経営を行うことができます。

Q 独立行政法人になると何か変わるの?

A 病院の職員は公務員ではなくなりますが、病院は秋田市が設立する病院であることに変わりはなく、民間医療機関では提供が困難な結核・精神などの不採算医療に加え、救急医療や高度医療をはじめとする良質で安全な医療をこれまでと同様に提供していくことになります。

市立秋田総合病院

理 念

●市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

基本方針

- 患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。
- 多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
- 患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努めます。
- 良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。

編集・発行/市立秋田総合病院 平成25年3月15日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 Tel(代表):018-823-4171 Fax:018-866-7026

E-mail: ro-homn@city.akita.akita.jp <http://www.city.akita.akita.jp/city/ho/newho/default.htm>